

Quarterly TAKACHIHO

高千穂大学広報誌

[クォーターリ-高千穂]

Vol.81

Graduation / 2021

【卒業特集号】

Special Feature on
Congratulations

2021



メッセージ

高千穂学園理事長
藤井 耐

高千穂大学学長
寺内 一

高千穂学園同窓会会長
千葉 吉明

高千穂大学父母の会会長
大澤 美貴

I部 送辞／答辞

II部 送辞／答辞

功労賞受賞者一覧



高千穂大学広報誌

Quarterly TAKACHIHO

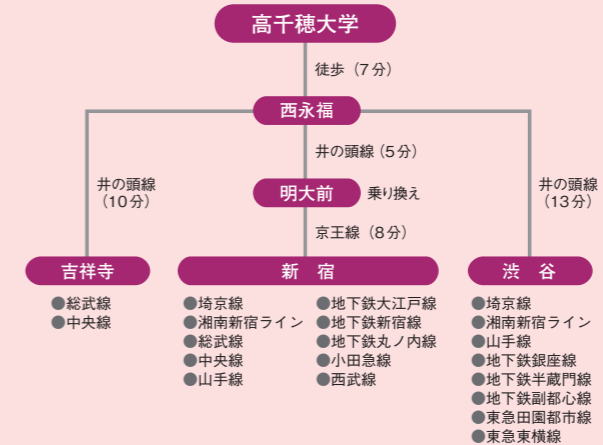
発行責任者：渡邊 均 発行：高千穂大学

〒168-8508 東京都杉並区大宮2-19-1

TEL：03-3313-0276

MAIL：koho@takachiho.ac.jp

ACCESS



■山手線・新宿駅または渋谷駅から西永福駅(井の頭線)まで13分(新宿駅からの場合は、明大前駅乗り換え)

■中央線・吉祥寺駅から西永福駅(井の頭線)まで10分

■西永福駅から本学まで徒歩7分



理事長メッセージ

祝卒業

「無知の知」・「無恥の恥」を自覚し、
謙虚な人間として成長して下さい。――

理事長

藤井 耐

2020年度卒業生の皆様。御卒業おめでとうございます。

心より御祝い申し上げます。併せて御父母の皆様方に対し、御息女・御息女の御卒業の御祝いと同時に、4年間に亘ります本学への御協力・御支援心より感謝申し上げます。有難うございました。

卒業生の皆様は、今後、約40年間に及ぶ職業生活、又、その後約20年間に及ぶ高齢者人生と併せ約60年間の人生を歩むこととなります。22歳の皆様にとつては「長い人生」と思われる方も多くいることでしょう。確かに「長い人生」かもしれません。しかし、今日の努力が明日の人生を充実させるための要因であり、明日の努力が明後日の人生を充実させるための要因であり、この蓄積こそが10年後、20年後、そして

60年後の人生を充実させるための要因となることを決して忘れないで頂きたいと思えます。49年前本学を卒業し、その後46年間母校に奉職させて頂き現在71歳となった一人の卒業生としての実感でございます。

皆様は、今から76年前、我が国が悲惨な戦争を経験し、国土が廃墟と化し、苦痛のなから経済的再建を遂げた昭和30年代にみる「高度経済成長時代」を知りません。又、昭和60年代から平成の時代を迎えた数年間に及ぶ土地バブル、株式バブル等「狂気の時代」も経験しておりません。

1998年〜99年に誕生し、少なくとも国内経済としては「宴の後」の「反省の時代」・「疲弊の時代」いわゆる「失われた10年・20年」と言われる時代に誕生し、今日まで歩んでこられま

した。今後も特別な現象が発生しない限り、皆様の歩まれる日本は、「市場経済の成熟化」・「人口減少・少子高齢化」・「経営のグローバル化」、そして、成熟社会において顕在化するであろうと推察される「様々な構造的二極化現象」がより鮮明となることでしょう。

私たち人間は、病理現象として捉えられる諸状況を改革し、解決していく能力も有しております。同時に、自らの資質・能力を向上させつつ眼前にある病理現象を克服する精神性も具備しております。そのうえで、なによりもお願いしたいことは、常に、自らの「知の足らずを知り」努力を継続されるということ、又、「無恥の恥を知り」謙虚さを失うことなく、他者と協調し、共生されるということです。

本学の「建学の精神・教育理念」は、

かに人に接するようでありたいと思ひます。

第一はいうまでもなく「学業に忠実」に集中しなさいということです。皆さん、高千穂での学生生活を思い返してみてください。迷い、苦しみながらも、それぞれに多くの学びがあったことと思ひます。第二の「益々信用を得ては、本学の教育の柱である人格教育を継続して、社会的にも信用されて成功してください」ということです。社会に出ると、学生時代以上に大きな試験に挑まなければなりません。しかし、どんな時にも、人としてあるべき誠実さを忘れず前に進むことが大切だということです。川田先生は、「誠」という言葉を特に大切になさっていました。第三は、順境にあつても「温良恭儉讓の徳を守り」とあります。経験を重ね、社会的に成功しても、驕ることなく、本学で培った諸々のことを忘れずに、人格をますます磨いていって欲しいということです。この川田先生のお言葉は、「卒業生に対する希望」でもあり、人生の先輩として、社会のなかで生きていく上で何が大切かを語りかけたエールでもあります。

それから約100年を経た本日2021年3月20日に、皆様はこの高千穂大学から巣立たれます。時代とともに大きく変わった部分ももちろんありますので、そこに対応していく必要があることは、いうまでもありません。特に、現代のように変化の激しい時代には、予想もしない事態に遭遇した時にそれを乗り越える力が必要になります。

この力についてはすでに、昨年『Quarterly高千穂』に6つの力として掲載しましたが、ここでもう一度、皆様にお伝えしたいと思ひます。6つの力とは、問題を解決する力、論理的に考える力、複数の視点から考える力、コミュニケーションする力、他者を受け入れる力、倫理観と社会的責任力です。実は、この6つの力は、皆

この種の資質・能力を育てていくことを願ひ、学生・卒業生・人間として成長されるよう期待するものでございます。卒業生の皆様には、本学の「建学の精神・教育理念」の体現者として、自らの人生を力強く、かつ、しなやかに歩んで頂けますようお願い申し上げます。尚、本年度は、新型コロナウイルス感染症による予期せざる大学生活となりました。ただし、上述の通り、皆様方の問題解決能力、精神性により克服されたものと御拝察致します。貴重な御経験として今後の人生に生かして頂きたいと思ひます。皆様方の将来を心より期待し、結びとさせて頂きます。

2021年3月 吉日

様が入学された時に所属した「ゼミ」という授業の到達目標であり、卒業時の目標ともなっています。皆さん、ここで、大学の4年間を思い返してみてください。授業やゼミナル活動、サークルや部活動、先生や友人との様々な出会いを通して、問題を解決する能力、そして論理的に考える力。また、コミュニケーションする能力、他者を受け入れる力、そして、倫理観と社会的責任力を確実に培ってこられたのではないのでしょうか。上手くいったことだけでなく、上手くいかなかったことも、すべての経験が自分の力になつていくことを是非感じてみてください。

しかし、これらの力は、当然のことではあります。大学時代に身につけて終わるものではなく、今後の皆様の人生においても醸成していくべきものでもあります。川田先生が卒業式で卒業生への希望として掲げられた3つの言葉は、今でも高千穂大学の学風の指針と3つの学風の中に息づいています。これに、高千穂で培ってきたさきほどの6つの力を加えることにより、事の本質を見抜き、自らの判断で自分の人生を切り拓きながら、さらなる人格養成に励んでほしいと思ひます。

最後に、皆様はこれから高千穂大学の同窓会の一員となります。同窓会では高千穂大学での学生生活で培った精神のもと、その同窓会を通じて仲間との懇親を深め、後輩を支援しています。皆様は、高千穂大学の卒業生としての誇りを胸に日々充実した人生を送り、同窓生としてこの高千穂大学で学ぶ後輩を見守ってくださることを期待しております。そして2年後の高千穂学園創立120周年を同窓生として迎え、元気な姿を見せていただくことを楽しみにしております。以上を私からのお祝いの言葉といたします。おめでとうございます。

2021年3月20日



学長メッセージ

式辞

学長 寺内 一

学 部生の皆さん、ご卒業、大学院の皆さん、ご修了おめでとうございます。ご家族の方々にも心からお祝いを申し上げます。皆様ご存知のように、今回の卒業式は新型コロナウイルス感染症の予防対策のため、人教制限をしての開催となりました。また、ご息女・ご令嬢の晴れの舞台を心待ちにしておられたご家族の皆様には大変ご不便をおかけいたしますが、そうした状況であることをご理解いただきますようお願い申し上げます。

この新体育館で行われた最初の入学式に参加した皆さんが卒業する日を迎えました。あれから4年、特に集大成となる4年生の1年間は、先ほど申し上げた新型コロナウイルス感染症の影響で、春学期はすべてが遠隔授業。終息を願った秋学期もゼミなどの一部科目で対面授業がなんとか実施できたものの、ほとんどを遠隔授業で行わざるを得ませんでした。また学生生活の大切なもうひとつの本分である課外活動も秋学期に一部のクラブができただけにとどまりました。最後の1年間をこのような形で過ごさざるを得なかったことを心よりお詫び申し上げます。しかし、皆さんが、118年を迎える、まさに伝統と歴史を持つ高千穂大学の歴史の伝承者であることは紛れもない事実です。また、大学院の修士課程と博士課程を修了される方にとっては、大学院でそれぞれの研鑽が認められ、今日が、まさにプロフェッショナルとしてのスタートの記念すべき日となります。

高千穂大学の創立者である川田鐵彌先生は、高千穂学園のルーツとなる高千穂尋常高等小学校を1903年に、現在の高千穂大学の前身である高千穂高等商業学校を1914年にこの杉並の地に設立しました。その設立趣意書には、「本校の目的は、人格養成を主とし、商業上必要となる高等の教育を施すにあり」と書かれています。以来、本学は100年を超える歴史の中で、常に人格教育を重視し、実学を通して、社会に貢献できる人材の育成に努めてまいりました。

その川田先生は1923年の高千穂学園創立20周年の卒業式で「卒業生に対する希望」として次の言葉を残されています。昨年度の卒業式の時にもお話ししたかったのですが、新型コロナの影響で卒業式自体を挙行することができません。今から100年程前のものですが、非常に重要なお言葉ですので、歴史と伝統を持つ高千穂大学の卒業に際して同じこの杉並の学び舎で過ごしてきた皆様に改めてご披露したいと思ひます。

(前略) 第一、学生時代には、なるべく馬車馬のやうに、左右を顧みず、専心、意、学業に忠実で、篤学の風を造るようでありたいと思ひます。第二、一旦、世の中へ出ましたならば、世の中には、学校時代よりも一層激しい競争と試験のあることを心に留めて、競争と試験に出遭い、益々信用を得て、御成功なさるやうにありたいと思ひます。第三、年とともに世の信用を得て順境に立つやうになりましても、良く昔のことを忘れずに、所謂温良恭儉讓の徳を守り、和や



父母の会会長メッセージ

ご卒業 おめでとうございます

高千穂大学父母の会会長

大澤 美貴

高千穂大学をご卒業される学生の皆様、おめでとうございます。2020年、東京オリンピック開催という世界が注目し、日本中が希望と期待に胸を膨らませていたお祭りムードから、突然訪れた新型コロナウイルス感染症により、毎日のニュースでコロナの話題を聞かない日はありません。感染症の世界大流行は、人類の歴史をたどると何度も繰り返し発生しており、人類が乗り越えていかなければならない試練です。「ピンチはチャンス」という言葉があります。追い詰められた苦しい状況こそ新たなことをスタートするのに絶好の機会と捉えた、より成長させるというポジティブな言葉です。これから社会に出ていかれる皆様にとって、逆境に立った時にはこの言葉を思い出し、乗り越えていってほしいと思います。日常では、コロナ禍は社会環境の変化と捉え、ビジネスではテレワークが急速に広がり、医療や教育分野でもオンライン診療、遠隔教育などの取り組みが進んでいます。このような社会環境に順応するためにも、高千穂大学が掲げる「常に半歩先立つ進歩性」「偏らない自由人」「気概ある常識人」「平和的国際人」の理念は皆様において、今後必ず役立つ日が来ると思っています。

元三洋電機副社長、後藤精一さんの名言「何も咲かない寒い日は下へ下へと根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く」はシドニーオリンピック金メダリスト高橋尚子さんが、高校時代の陸上部の恩師から送られた言葉としても知られています。努力しても何の成果も得られないと感じるとき、うまくいかなくて投げ出してしまいたくなることもありますが、これからの人生において直面することがあるでしょう。そんな時には足元に目を向け、地道な努力を積み重ねてください。結果が出なくてもあきらめずに、努力をしてください。最初から花が咲くことや、花が絶えず咲き続けることは難しいけれども、苦しいときに踏ん張れば根が伸び、そしてやがて大きな花が咲くこととなります。努力することを忘れず自分を信じ、周りの人に感謝して、前に進んでほしいと思います。

高千穂大学で身につけた経験、そして人のつながりを活かして羽ばたくときです。素晴らしい未来に向かって躍進してください。応援しております。ご卒業、おめでとうございます。

同窓会会長メッセージ

卒業おめでとうございます

高千穂学園同窓会会長

千葉 吉明



卒業

業生の皆さま、卒業おめでとうございます。皆さまは高千穂大学での4年間を振り返り、様々な感慨深い思い出おられると拝察いたします。

2020年初頭からの新型コロナウイルス感染症蔓延により、4月の入学式、新入生オリエンテーションを始めとした諸行事が中止になり、5月からオンライン授業となりました。これまでの授業では、「先生と受講生たち」であったのが、「先生と私」となるオンライン授業の効果も学生から伝えられました。

本来であれば、4年生の最終年次に多くの先生、ゼミクラブの学生、友人との交流が制約を受けたと思います。しかし、高千穂大学の歴史と文化「半歩先立つ進歩性」「偏らない自由人、気概ある常識人、平和的国際人」に基づく貴重な体験は、これからの皆さまの人生にとって大きな財産となることと思います。

ご両親をはじめとする多くの人に支えられた学生という身分から、全てが自己責任として問われる社会人として第一歩を踏み出します。皆さまは、新しい環境の社会へ出発するにあたり、明るい希望に満たされている一方、多くの不安を抱いておられるでしょう。そのような時に、同窓会の活動に参加し

て先輩に相談してみてください。高千穂学園同窓会は全国の会員3万7千人、30支部で様々な活動を展開しています。多くの皆さまの先輩はいろいろな分野で活躍し、後輩の皆さまに誇れる実績を築き上げ、社会・企業・地域に大きな貢献をしております。どうぞ皆さまも高千穂学園同窓会の新しい会員として、自信をもってスタートしてください。そして、先輩に希望を与える人材として成長してください。

現在、企業の合併・統合、AI、IoT、少子高齢化、地域の紛争、外交の複雑化など、当たり前と考えられていた常識が崩れ去る時代になっています。社会、企業は皆さまに今の社会にのみ通用する知識だけでなく、若いパワーと併せて今を変える能力を求めています。本気の勉強はこれから始まります。この大学を出たかたでなく、何ができるかが求められています。変化に対応できる知識・知性を磨き、他の人に説得力のある自分の主張を確立してください。これからの人生は、成功以上にたくさん失敗・挫折を繰り返すでしょう。目標に向けての不断の努力の積み重ねが、必ず総合的な人間力を持った人材として成長し、明るい展望が拓けると確信しています。皆さまの飛翔を心からお祝い申し上げます。

高千穂会一覧表

支部名	会長	卒回	住所	通信員	卒回
北海道高千穂会	井山 透	大学22	063-0002 札幌市西区山の手二条7丁目1-1410	野西 光一	大学32
青森県高千穂会	小山内 明	大学19	030-0915 青森市小柳6-15-5	珍田 大吾	大学47
岩手県高千穂会	田村 清記	大学33	020-0875 盛岡市清水町2-33	平賀 千秋	大学37
宮城県高千穂会	小笠原 秀一	大学20	986-0825 石巻市穀町1-3	松坂 宏道	大学31
秋田県高千穂会	菊地 定夫	大学19	010-1424 秋田市御野場2-13-14	星宮 弘宣	大学21
山形県高千穂会	岩崎 啓司	大学23	992-0039 米沢市門東町1-5-33	北村 潤	大学40
福島県高千穂会 会津地区分会	松崎 陽一	大学51	966-0049 喜多方市長面3048	小野 恭史	大学56
福島県高千穂会 中通地区分会	駒木 根弘	大学29	963-0206 郡山市中野二丁目34番地	谷野 信夫	大学25
福島県高千穂会 いわき地区分会	瀬田 恒靖	大学18	970-8044 いわき市中央台飯野2-17-2	林 義功	大学26
茨城県高千穂会	浦巢 将幸	大学48	315-0074 かすみがうら市下志筑957-4	鈴木 知明	大学45
栃木県高千穂会	中澤 徳光	大学37	329-0511 下野市石橋588	吉田 順一	大学39

支部名	会長	卒回	住所	通信員	卒回
群馬県高千穂会	岩井 孝夫	大学22	375-0041 藤岡市緑壘306-5	境野 稔	大学36
埼玉県高千穂会	清水 実力男	大学21	331-0823 さいたま市北区日進町1-50-13	大内 貴賢雄	大学36
千葉県高千穂会	中村 豊	大学64	288-0031 銚子市前宿町639	荒井 正光	大学26
東京都高千穂会	勝山 正之	大学27	198-0042 青梅市東青梅4-11-26 エスカシア河辺203号		
神奈川県高千穂会	吉田 孝一	大学18	247-0007 横浜市長谷区小菅ヶ谷3-17-1	北田 大介	大学51
山梨県高千穂会	小沢 治	大学23	400-1511 中央市木原869	木内 秀樹	大学24
長野県高千穂会	米倉 清文	大学19	381-0082 長野市大字上駒沢926-1	北島 守	大学22
新潟県高千穂会	今成 直人	大学31	949-6680 南魚沼市六日町2886	藤井 英雄	大学36
石川県高千穂会	荒木 雅之	大学28	920-0341 金沢市寺中町29-5	柴田 昇	大学28
静岡県高千穂会 中部地区分会	永野 眞道	大学45	422-8078 静岡市駿河区さつき町3-10 シャルマン東森下A305	荒木 保貴	大学53
静岡県高千穂会 西部地区分会	加藤 丈雄	大学31	430-0852 浜松市中区領家3-6-30	立石 和子	大学31

支部名	会長	卒回	住所	通信員	卒回
東海高千穂会	山本 三雄彦	大学31	461-0045 名古屋市中区砂田橋5-7-22 BELISTA茶屋ヶ丘505号	仲 立貴	大学47
関西高千穂会	林 万佐夫	大学22	616-8426 京都市右京区嵯峨二尊院門前 生院町15-1		
広島県高千穂会	未定				
山口県高千穂会	未定				
香川県高千穂会	松本 博光	大学24	760-0013 高松市扇町1-28-25	小河 正昭	大学32
愛媛県高千穂会	河野 隆幸	大学22	791-8061 松山市三津3-4-36	久保 悦男	大学23
高知県高千穂会	高村 俊寛	大学49	781-5103 高知市大津乙132-5 フレグランスA202	塩見 浩一	大学22
九州北部高千穂会	岡田 浩昌	大学34	800-0117 北九州市門司区恒見1284	三好 政一	大学55
宮崎県高千穂会	南 貴彦	大学35	880-0907 宮崎市淀川2-5-11	未定	

高千穂大学 父母の会・事務局

〒168-8508
東京都杉並区大宮2丁目19番1号

TEL/FAX 03-3313-0432
E-mail fubokai@takachiho.ac.jp

I部

送辞

冬

の厳しい寒さも和らぎ、春の訪れを感じるこ
とができる季節となりました。卒業生の皆
様、本日はご卒業おめでとうございます。また、ご父
母の皆様におかれましては誠にありがとうございます。
母の皆様を代表し心よりお祝い申し上げます。

今日という日を迎え、今、皆様方の心の中では、ど
のような学生生活を振り返られているでしょうか。
様々な講義や先生方との出会いで知識を深められ
たこと、ゼミナール活動での専門的な研究や発表を
されたこと、仲間とともに打ち込み熱中した部活動
やサークル活動、予想以上に大変だったアルバイト
と学業の両立、ご学友と過ごした何でもないような
日々。

きつとお一人お一人がかげがえのない一生の思
い出を携えていらつしやると存じます。そのような
大学生活における思い出を、わずかでも共有させて
いただきましたこと、在学生一同大変嬉しく、また
光栄に思っております。

皆様卒業される2020年度は新型コロナウイルス
感染症の発生と拡大により世界経済は大きな
被害を受けました。中でも人の移動が妨げられたこ
とから一部を除いて企業も個人も大きな打撃を受
けました。政府は助成金等で経済を支援していま
すがまだ完全な回復には至っていません。また昨今
の情勢は大変目まぐるしく、日本では新政権が発足し、
アメリカでは民主党政権が誕生し、米中貿易摩擦の
動向も予断を許さない状況です。このような状況の
中、卒業していかれる皆様は例年とは違った意味で
多難なことが待ち受けているかもしれません。時
には不条理な事態に見舞われたり、大きな困難が障
害となつて立ちふさがるともありません。しかし、そ
のようなときはどうか高千穂大学の日々を思い出
していただき。大学生活で出会った気の置けない仲
間やご学友の方々、時に厳しく時に優しくご指導ご
鞭撻いただいた先生方、いつでも寄り添い応援して
くださるご家族の方々。大学生活で培ったかけがえ

のない経験と皆様を大切に思う多くの方がきつと皆
様の力に、支えになるはずです。ここ高千穂大学で
学んだ知識を知見に変え、世界という広くも厳しい
大海原に向かって夢と希望を抱き、強く進まれます
ことを祈念しております。

今、皆様との学生生活の日々が懐かしく思い出さ
れ、感謝の気持ちと共に、皆様とお別れする寂寥感
が入り乱れております。我々、在学生一同、先輩方
が築かれた本学の素晴らしい伝統を守り、受け継ぎ、
そして皆様のように胸を張って新しい世界へ踏み出
せる人物へと成長を遂げますよう、一層精進し努力
致すことをここに誓います。

最後となりますが、新たな旅立ちを迎える皆様方
のご活躍とご健康を祈願し、在学生を代表して、心
よりご卒業のお祝いを申し上げて、送辞とさせていただきます。

2021年3月20日



《在学生代表》

河藤 新人

商学部 会計コース 3年
広島県私立修道高校出身
川崎ゼミ

冬

の寒さも和らぎ始め、花々の芽吹きが新たな季
節の到来を告げる頃となりました。新型コロナ
ウイルス感染症の影響で実施が危ぶまれた卒業式で
したが、対策として2部制へと形式を変えた上で挙行して
くださり、誠にありがとうございます。また、保護者の皆
様におかれましては、直接対面することは叶いません
でしたが、動画配信といった形でご臨席を賜り、ありが
とうございます。卒業生を代表して心より御礼申し上げま
す。本日をもって、私たちは高千穂大学を卒業します。

思い起こせば4年前、私たちはまだ見ぬ大学生活に
期待と不安を抱きながら、全国各地からこの高千穂大
学の門をくぐりました。慣れない環境で、高校生の時
とは全く異なる講義を新しい友人と共に受け、戸惑い
や不安を感じることも数多くありました。しかし、そ
んな時に先生方や先輩方が優しく助けてくださり、戸
惑いや不安が一気に和らいだことをよく覚えていま
す。卒業生の皆さんは今までの大学生活を振り返つて
みてどうでしたか？初めてのゼミナール活動やサー
クル活動、なかには初めての一人暮らしやアルバイト
に四苦八苦した人も多いかもしれせん。私自身、初
めてのアルバイトで社会の厳しさや仕事の大変さを
知ることができました。また、ゼミナール発表会では

なかなか思うようにならず、大きな問題に直面し、他
の人と意見が対立したり、あるいはみんなでの協力し
て乗り越えたりすることがあったかと思えます。ゼ
ミナール活動に限らず、様々な人が集まるコミュニ
ティにおいては、社会活動の厳しさや人間関係の悩
みといった皆さんの艱難辛苦が存在します。たく
さん悩んで、時には辛いことや悲しいことがあつた
としても、それを乗り越え、成長していくことができ
たからこそ、今日この日の私たちがいると思えます。

そして、大学生活中に成人を迎える人も多いなか、
一人ひとりの責任の重さが今までとは格段に違うと
感じることもありました。何をしても自分か
ら動かなくてはいけない環境のなか、自身の責任の
重さを自覚し、行動しなければなりません。しかしそ
れは、自分が何をやりたいかを考え、様々なことに挑
戦することのできる無限の可能性を秘めた4年間に
なつたと思えます。

残念ながら、大学生活の最後の1年間では、新型コ
ロナウイルス感染症の影響で今までは違つて慣れ
ない形式での授業や就職活動となり、大変な思いを
しました。なかなか大学に行くことができず、学友と
顔を合わせる機会も少ないなか、今日この日に皆と

顔を合わせることができて大変嬉しく思います。

私たち4年生は、これから社会の一員になります。大
きな変化を遂げつつある社会で、私たちは、これまでの
学生生活とは違つた、大変さや苦労を経験することと
思えます。時には、理不尽なこともあるでしょう。そん
な時、この高千穂大学で得た様々な学びや、人とのつな
がりを忘れず、これから先の未来を歩んでまいります。

最後になりましたが、今日まで私たちにあなたか
い激励およびご指導をしてくださりました、藤井理
事長、寺内学長をはじめ、さまざまなことを教えてく
ださつた諸先生方、きめ細やかな素晴らしい対応で
学生生活を支援してくださつた事務職員の皆様、そ
して私たちの成長を温かく見守り続けてくれた家族
とこれまでの学生生活に関わつたすべての方々の協
力があつて、こうして卒業の日を迎えることができ
ました。卒業生を代表して、私たちが支え、導いてく
ださつたすべての方に心より御礼申し上げます。本
日、卒業を迎えられる皆さんの未来が希望に満ちた
ものであること、後輩の皆様方の更なる御健闘、御
活躍、そして高千穂大学のより一層の発展と躍進を
願ひまして、答辞の言葉とさせていただきます。

2021年3月20日

答辞



《卒業生代表》

大濱 璃音

商学部 会計コース
沖縄県立那覇高校出身
川崎ゼミ、学生会本部
学術文化団体連合会本部
簿記会計研究会

Ⅱ部

送辞

厳

しい寒さが過ぎ、新芽が芽生え、新たな出会いを感じる季節となりました。卒業生の皆様、本日はご卒業おめでとうございます。在学生を代表し、心よりお祝い申し上げます。

今、皆様は、この高千穂大学での4年間をどのように振り返られているでしょうか。日々の授業やゼミナール活動、部活動やサークル活動など、大変充実した大学生活を送られていたことと思います。その大学生活で出会った仲間や、培った知識はこの先の人生でかけがえのないものとなるでしょう。また、私たちが在生にとっても、皆様との出会いや共に過ごした時間は何ものにも代え難い宝物となることでしょう。

さて、昨年は激動の年であったと感じます。新型コロナウイルス感染症が流行し、社会全体が変化を余儀なくされました。就職活動真只中での出来事だったため、不安に感じた方も多くいらっしゃったと思います。しかし、今、ここにいる皆様は、この荒

波を乗り越えた誇り高い高千穂生です。社会人になれば、荒波の連続でしょう。辛いことや挫折そうになることもたくさんあるでしょう。そんな時は、高千穂大学での生活を思い出してください。ゼミナール発表会の準備で夜遅くまで仲間と話し合った日々、毎日図書館へ行き、勉学に励んだ日々、アルバイトと勉学の両立をこなした日々、それらすべての努力の過程がこの先の人生において、必ず助けになるはず。それでも挫折そうになった時は、ぜひ、高千穂大学に足を運んでください。長い間お世話になった先生方や、私たち後輩に会いに来てください。その時まで在生一同、皆様に引けを取らないくらいに大きくなり、後輩たちの手本となるように精進してまいります。

これから、卒業生の皆様は、それぞれの道を進んでいくことになります。用意された道を進む人もいれば、新たな道を自ら作り、進む人もいます。途中で道に迷ってしまう人もいるかもしれませんが、しかし、

それらはすべて皆様自身の道であり、その道の先には皆様の思い描いた未来がきっと待っていることでしょう。

最後になりますが、皆様がこれまで尊敬する先輩として私たちが先導し、励ましてくださったことに、心より感謝申し上げます。皆様のご活躍とご健勝を祈念いたしまして、送辞とさせていただきます。

2021年3月20日

桜

のつぼみがようやく膨らみ始めるこの良い日に、私たちは高千穂大学を卒業することができました。

式の開催につきまして、藤井理事長、寺内学長をはじめ、諸先生方、職員の皆様、来賓の皆様、保護者の皆様のお心遣いに、卒業生一同、心より御礼申し上げます。共に学んだ仲間と、こうして顔を合わせる事ができ、とても嬉しく思います。また、先ほどは心温まる送辞をいただき、ありがとうございます。私達を励まし、応援してくださる後輩の皆様に恥じぬよう、卒業生一同、日々邁進してまいります。

今から約4年前、新しい生活に大きな期待と不安を持ちながら、初めて大学の門をくぐった日のことを、今でも昨日のように思い出します。1年生の頃は、新しい生活に戸惑いながらも、様々な出会いを経験しました。先生方や先輩にサポートいただき、新しい友人と過ごす内に、不安は消え去り、充実した日々を送れるようになりました。2年生に進級以降は、学びたい科目を自分の意志で選択できる機会が増え、学ぶ楽しさを改めて感じました。3年生ではゼミナールでの研究に励み、大きな目標を達成した時の充実感を得ました。4年生での学生生活は

学友に会えず、慣れないリモートでの授業、就職活動など、閉塞感を感じる1年でしたが、「平和的国際人」として、自分が今の社会のためにできることを、より考えるようになりました。

卒業生の皆さんも、今日までの4年間、高千穂大学でたくさんの経験をしたことでしょう。私達はこの場に立つまでに、少なくとも124単位の時間、およそ1400時間、共に学びました。部活動や、サークル活動をはじめとしたコミュニティだけでなく、休みの時間の何気ない会話などの時間も含めると、本当にたくさんの経験を、高千穂大学でさせていたのだと改めて感じます。ぜひ、この4年間の学生生活を思い返しながら、引き続き私の話を耳を傾けてください。

私は高千穂大学で、多くの楽しかった思い出を作ることができましたが、苦しい思いも何度も経験しました。特に、努力が報われず、歩みを止めたいと思つたときは、立ち直るまで苦労しました。皆さんも、楽しいだけの学生生活ではなかったと思います。そんな時に、私を励ましてくれた曲を紹介したいと思えます。その歌には「人生は美しいアルバムじゃない、撮れなかった写真さ」という歌詞があります。「結果が良くて悪くても、それまでの経験全てが今の自分を

形作る大切な一部である私は、そう解釈し、新たな目標に向かって再スタートを切ることができました。

今、あらためて社会に目を向けてみますと、努力が報われなかった、無駄だったと感じる瞬間は、誰にでも、何度でも起こるものだと思います。しかし、その経験、感じたこと全てが未来の自分を作っていく尊いものであると信じて、卒業生の皆さんには、共に学んだ仲間として、悔いのない道を歩んで欲しいと思っています。

最後になりますが、藤井理事長、寺内学長をはじめ、今日まで私たちに多くの学びを与えてくださいました諸先生方、何事にも親身にサポートしてくださいました事務職員の皆様、共に励みあっていた友人、今日まであたたかく見守ってくださいました家族と、学生生活で関わりました全ての方々に支えていただき、私たちは卒業の日を迎えることができました。卒業生を代表して、心より御礼申し上げます。

本日、卒業を迎えられる皆さんの未来が希望に満ちたものであること、後輩の皆様方のさらなる御健闘、御活躍を心よりお祈り申し上げ、高千穂大学のより一層の発展と躍進を願ひまして、答辞とさせていただきます。

2021年3月20日

答辞



《卒業生代表》

角田 美羽

経営学部 企業経営コース
千葉県立成田国際高校出身
竹内慶司ゼミ



《在学生代表》

下川 博康

人間科学部 社会・ライフデザインコース 3年
福島県立磐城高校出身

卒業後の各種利用や証明書発行についてのご案内です。ぜひご利用ください。

卒業生の図書館利用について

卒業生の方も図書館が利用できることをご存知ですか? 本学は卒業生の皆さんの社会活動を応援するために、図書館を開放していますので、大いに利用して下さい。

- 図書館の情報はホームページでもご覧いただけます。
www.takachiho.jp/lib
TEL 03-3313-0147

利用方法

図書館総合カウンターで「図書館利用カード」発行の手続きをお取り下さい。その際、身分証明書の提示と登録料1,000円が必要となります。図書の貸出も行いますが、貸出期限や利用時間が在学生とは異なる場合がありますので確認して下さい。

証明書発行の申請について

卒業生が卒業証明書などの証明書を必要とする場合はインフォメーション窓口への直接申請(以下「窓口申請」)と、郵送による申請(以下「郵送申請」)の2種類があります。

「窓口申請」方法と証明書の受け取り

- ①窓口備付の「証明書交付願書」に必要事項を記入し、身分証明書を提示のうえ、交付手数料をお支払いください。
- ②申請後和文証明書は1~3日、英文証明書は3~7日(土日・祝日・事務局休業期間を除く)で発行いたしますので、後日窓口または郵送での受け取りになります。

「郵送申請」方法と証明書の受け取り

- ①「証明書交付願書」をホームページよりダウンロードして記入していただくか、必要事項を記入した文書^(※1)を作成してください。なお、卒業後に氏名を変更された方は、在学当時の氏名を()付で併記してください。
 - ②①「証明書交付願書」、②交付手数料分の定額小為替(または郵便切手)、③返信用封筒(返信用切手を貼付)に住所・氏名を記入したもの、④身分証明書のコピー、の4点を同封して申請してください。
 - ③申請書類を受理してから3~7日(土日・祝日を除く)で発送いたします^(※2)。
- ※1 必要事項:氏名・フリガナ・生年月日・住所・電話番号・入学年月・卒業年月・学籍番号・使用目的・提出先・証明書の種別と必要数(英文証明書の場合はローマ字氏名も記入)
※2 発送後の郵便事故、不着に関しては責任を負いかねます。速達郵便・簡易書留等をご利用いただくことをお勧めします。

●詳しくは、「高千穂大学HP」→「卒業生の方へ」→「卒業生の証明書申請について」を参照。

「証明書」の種別と交付手数料

- 「卒業(修了)証明書」.....200円
- 「成績証明書」.....500円
- 「英文卒業(修了)証明書」.....1,000円
- 「英文成績証明書」.....2,000円
- 「単位修得証明書」.....500円
- 「在学期間証明書」.....200円

申請先と事務取扱時間等

- 申請先
〒168-8508 東京都杉並区大宮2-19-1
高千穂大学CSインフォメーション証明書交付係
TEL 03-3313-0431
- 事務取扱時間
平日9:00から16:30、土曜日9:00から11:30
- 事務局休業日
日曜、祝日、夏季・冬季休業期間
※詳細は学年暦による

白根セミナーハウスの利用について

現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、当面の間、白根セミナーハウスの利用を停止させていただいています。利用の再開につきましては決定次第、ホームページにてお知らせいたします。

申込方法	予約は利用日の2ヶ月前から受付を開始します。大学においていただけない方はまず総務課(TEL 03-3313-0141 平日9:00から16:30、土曜日9:00から11:30)へご連絡ください。
利用料金(1泊2食付)	卒業生 4,000円(野外パーベキューは500円追加)
定休日	毎週水曜日が定休日です。それに伴い、前日の火曜日からの宿泊はできません。
施設	収容人員50名 客室8室(エアコン、テレビ完備) 食堂50席 駐車場28台 セミナールーム 野外パーベキュー(5月下旬~9月末) テニスコート バドミントンコート 卓球台
送迎バス	万座・鹿沢口駅からセミナーハウス間の送迎を行っていますので、希望される方は申し込み時にお申し出下さい。
取り消し及び変更	使用日の3日前までに総務課(TEL 03-3313-0141 平日9:00から16:30、土曜日9:00から11:30)までご連絡下さい。それ以降の取り消しは、原則として利用料金の払い戻しはございません。

- 所在地 〒377-1712 群馬県吾妻郡草津町前口3-107 TEL 0279-88-4026
- 交通 上野より(直通又は渋川乗り換え吾妻線)万座・鹿沢口駅下車、送迎バスがあります(約20分)。草津温泉までは、軽井沢駅(西武観光バス、草軽交通)及び東京駅・新宿駅(JRバス関東)よりバスが運行しています。関東自動車道、波川・伊香保ICより約1時間。上信越自動車道、碓氷軽井沢ICから鬼押ハイウェイでの利用も可能。

利用者心得

- ①チェックイン13:00 チェックアウト10:00
- ②公共利用場所(食堂等)の使用は21:00までとする。
- ③利用者は、使用許可書を管理人に提出し、宿泊者名簿に必要事項を記入のうえ、部屋割を受けること。
- ④利用者は、管理人の指示に従い部屋の清掃、整理、整頓、食器の後片付け等は各自で行うこと。
- ⑤施設、備品等を使用するときは、あらかじめ管理人に届け、指示に従うこと。破損した場合は、その実費を弁償すること。
- ⑥火気には特に注意し、喫煙者はマナーを守ること。
- ⑦施設内の風紀、秩序を乱したり、他人の迷惑となる行為をした者は以降の使用を禁止する。

●ホームページでもセミナーハウスの詳しい情報をご覧いただけます。
www.takachiho.jp/seminar_house

- 編集長 渡邊 均
- 委員 坂田 利康
西原 正人

●編集・印刷 orange corporation

クォーターリー高千穂設置場所:
図書館(1階)、3号館(1階)、4号館(1・2階)、情報メディアセンター、CS(1・2・3・4階)

Quarterly [クォーターリー 高千穂]

TAKACHIHO

2021/3 Graduation Vol.81

【卒業特集号】

高千穂大学ソーシャルメディア公式アカウント

卒業後に大学の最新情報、先生や後輩の活動、そしてクラブ・サークルの様子を知りたい! という方は、大学の公式アカウントをフォローしよう!



受賞者一覧

功労賞

功労賞とは、在学中、校友会本部などの振興に顕著な功績を残した学生を表彰するものです。在学中のさまざまな活動や功績に栄誉を称え、そして卒業後、企業や社会での更なる活躍を大いに期待しています。輝け、卒業生たち!!

多くの方の支えにあらためて感謝しています。

私は学生時代に名誉ある役職に就任出来たことを誇りに思います。体育会では、体育祭を盛り上げ、三高商の幹事校としての役割を全うできました。校友会会長としては、厳しい状況もありましたが、教職員の方々、校友会役員の仲間に支えられて乗り切ることができ、感謝の念に堪えません。

この経験は自分を見つめ直し、成長する機会になりました。将来、困難にぶつかった時、乗り越えるための糧となるでしょう。

校友会団体の後輩には、各本部の伝統を守りつつ、個性溢れる本部活動を行ってほしいです。

宗像 哉臣

商学部
マーケティングコース
福島県私立日本大学東北高校出身
校友会会長、体育会副委員長
体育会本部
バドミントン愛好会
庄司ゼミ

